第2回「防災に関する日本学術会議・学協会・府省庁の連絡会」

——災害時医療と理工学分野の連携——

　災害発生後の緊急時における医療活動は、人命を守る観点で極めて重要である。この活動を支えるためには、被災状況の把握、被災地までのあるいは被災地における交通・輸送の確保、病院・避難施設の安全・環境面の問題など、理工学の諸分野の技術や情報が展開される必要がある。

　本連絡会では、災害発生直後の医療・看護活動をスムースに進めるための連携に的を絞り、各分野の情報交換を行うとともに、今後の連携のあり方と方策を考える。

 日時　2019年6月13日（木）13：00～17：30

 場所　日本学術会議講堂

スケジュール（案）

１．開会

　　　開会挨拶 防災減災学術連携委員会 13：00-13：05

　　　趣旨説明 防災学術連携体 13：05-13：10

　　　挨拶 内閣府 防災担当政策統括官 13：10-13：15

２．出席者の紹介 13：15-13：20

３．災害医療関係の学会から問題提起 13：20-14：20

　　　災害発生と緊急医療

　　　医療機関の安全性の確認と確保

　　　医療機関へのライフライン確保と補給

　　　医療機関の機能維持と早期復旧

　　　災害時の看護活動と課題

　　　災害時の公衆衛生問題

　　　など

４．理工学分野の課題と解決策 14：20-15：20

　　　土木学会：インフラの被災・復旧関連、河川・地盤情報

　　　日本建築学会：建築施設の災害時安全性・機能維持性確保

　　　など

　　休憩 15：20-15：30

５．府庁省の政策 15：30-16：10

　　　内閣府：SIPシステムの開発情報と活用

厚生労働省：災害時保健医療体制

　　　国土交通省：災害時緊急復旧関連

　　　環境省：災害時環境問題

　　　気象庁：防災気象情報の発信

　　　など

６．全体意見交換 16：10-17：10

７．学術会議、府省庁、防災学術連携体の構成学会からのお知らせ 17：10-17：25

８．閉会 17：25-17：30

　　※ 本連絡会終了後に意見交換会を開催